

## あと少しの夏休み、最後まで有意義に過ごそう

夏休みも残り少なくなってきました。連日猛暑が続いていますが、そんな中でも部活動がんばる声が聞こえてくるなど、みなさんが健康で有意義な休みを過ごしているのが感じられます。あと10日ほどに近づいてきた2学期のスタートに向けて、体調や生活のリズムを整えていきましょう。

### 愛媛県は全国1位～自転車ヘルメット着用率～

先日、自転車ヘルメットの着用状況や意識についての全校調査の結果が発表されました。これは、NPO法人の自転車活用推進研究会がインターネットを使って全国約1万人に調査したものです。それによると、右の表のように愛媛県が全国1位(29%)だったそうです。

順位	都道府県	着用率 [%]
1	愛媛	29
2	長崎	26
3	鳥取	18
4	山口・長野	17
全国平均		11.2

愛媛県では全国に先駆けて自転車の安全利用に関する条例を制定し、自転車乗車時のヘルメット着用を努力義務とするなど、県や市・町をあげて自転車の安全な利用に取り組んでいます。みなさんも中学校入学時に上島町からヘルメットをいただいたと思います。警察庁の統計によると、昨年(2019年)1年間に全国で433人が自転車乗車中の事故で亡くなっています。また、自転車乗車中に起きた死亡事故の約60%は、頭部の損傷によるものだそうです。「ヘルメットをしていて命が助かった」という方は大勢います。愛媛県では、昨年・一昨年と高校生以下の子どもの自転車乗車中の死亡事故は起きていないそうです(愛媛県警察本部調べ)。



### ヘルメット着用と一緒に安全意識も携えて

では、ヘルメットをかぶっていれば事故は防げるのでしょうか。もちろん、そんなことはありませんよね。ヘルメットをかぶると同時に、交通ルールやマナーを守ろうとする安全意識も一緒に携えてほしいと思います。きっと、例え遊びでの外出や、近い距離でもヘルメットを正しく着用してから出掛けている人は、いつも交通安全を心掛けている人で、その心掛けが自然に交差点での一時停止や左右確認などの、安全な自転車の乗り方につながっているのだと思います。

最近、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、世界的に自転車活用が注目されています。日本でも、サイクリングブームと、3密を避けたい人の自転車利用が増える傾向にあります。残念ながら、まだまだ小・中学生や高校生以外のヘルメット着用率は高いとは言えません。皆さん自身が安全運転を徹底し、自他の生命を大切にすると同時に、皆さんの交通安全に対する姿勢や意識が、まわりのいろいろな年代の人へ広がっていくといいですね。

さあ、あとわずかの夏休み。最後まで安全に過ごしてください。



